別紙１

平成　　年　月　　日

産学官連携推進機構共用研究室等利用申請書

産学官連携推進機構長　殿

 利用申請代表者

 学部・学科：

 　　　　 職名・氏名：

 　　 内線（　　　　）

産学官連携推進機構の共用研究室等を利用したいので申請いたします。

なお、利用にあたっては機構の利用要項等を遵守します。

　利用希望者記入欄

|  |  |
| --- | --- |
| 利 　用 　目　 的 |  |
| 利　 用　 期 　間 | 平成２８年４月１日～平成２９年３月３１日 |
| 利　　　用　　　者（本学利用責任者）（共同研究先の企業等） | 所属：氏名：電話： |
| 所属：氏名：電話： |
|  利用希望の建物・面積等 | □産学官連携推進機構棟　　□地域創生総合研究棟□１０㎡　□１５㎡　□２０㎡　□３０㎡　　□４０㎡　　　　□６０㎡　□その他（　　　　　　　　　） |
|  搬入機器名及び目的 |  |
|  使用料の請求先 支払方法・時期 | □共同研究費　　□受託研究費　　□寄附金　　□補助金・基金□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□請求書（宛名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（送付先： ）□毎月払い　□一括払い |
|  活動報告及び活動計画 | ※別添活動報告・活動計画書を添付する。 |
|  備　　　　　　　考 |  |

産学官連携推進機構 共用研究室等　平成２７年度活動報告

**（詳細にご記入ください。また参考となる報告書等の資料を添付ください）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学部・学科

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職名・氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先

|  |
| --- |
| １．共同研究等の成果（進捗の状況・今後の展開・新事業創出の可能性等） |
| ①共同研究のテーマや内容等が新産業の創出に貢献する可能性　　例：○○の共同研究は○○技術の開発を目指しており、これにより○○産業の活性化が期待できる。 |
| ②共同研究の進捗状況及び今後の進展可能性　　例：○○の共同研究は80％達成した。　　　　この結果、○○の新商品が開発された。これを踏まえて平成○○年度まで共同研究を継続する。 |
| ２．研究開発プロジェクトの創出（研究費確保の状況、本学への資金導入額、知財の活用等） |
| ①研究開発プロジェックト創出　 例：現在、○○株式会社とともに共同研究を進めており、これを踏まえて○○に関する研究開発プロジェクトを立ち上げ○○研究支援事業に提案する。 |
| ②本学の知財等活用　 例：○○に関して出願した特許を活用する。 |
| ③外部資金の導入の可能性　　例：県の実施する研究開発事業に採択、研究費○○千円を獲得。　　　　内、本学の研究費は○○千円。 |
| ３．波及効果（本学及び地域（企業）等での産学官連携推進への貢献等） |
| ①本学の産学官連携への貢献　　例：新商品開発向けた原料調達等で地域との連携を検討している。　　　　事業の一環として○○発表会に参加して周知広報を図った。 |
| ②地域への波及効果例：新商品開発向けた原料調達等で地域との連携を検討している。　　　　事業の一環として○○発表会に参加して周知広報を図った。 |
| ４．利用頻度、利用方法、必要性（使用日数、使用人数等） |
| ①利用頻度（使用日数、使用人数等）　　例：使用日数　○○日／週　使用人数　○○人／日（内：研究員○○人） |
| ②利用方法　　例：机○○台、イス○○台、キャビネット○○台、ＰＣ○○台を持ち込み、○○開発のため　　　　の作業に使用する。 |
| ③必要性　　例：○○株式会社との共同研究を実施するためには学内にラボが必要である。 |
| ５．その他・特記事項　　　例：共同研究の成果を踏まえ大学発ベンチャー創出を目指している。 |

産学官連携推進機構 共用研究室等　平成２８年度活動計画

**（詳細にご記入ください。また参考となる提案書等の資料を添付ください）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学部・学科

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職名・氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先

|  |
| --- |
| １．共同研究等の成果（進捗の状況・今後の展開・新事業創出の可能性等） |
| ①共同研究のテーマや内容等が新産業の創出に貢献する可能性　　例：○○の共同研究は○○技術の開発を目指しており、これにより○○産業の活性化が期待できる。 |
| ②共同研究の進捗状況及び今後の進展可能性　　例：○○の共同研究は80％達成した。　　　　この結果、○○の新商品が開発された。これを踏まえて平成○○年度まで共同研究を継続する。 |
| ２．研究開発プロジェクトの創出（研究費確保の状況、本学への資金導入額、知財の活用等） |
| ①研究開発プロジェックト創出　 例：現在、○○株式会社とともに共同研究を進めており、これを踏まえて○○に関する研究開発プロジェクトを立ち上げ○○研究支援事業に提案する。 |
| ②本学の知財等活用　 例：○○に関して出願した特許を活用する。 |
| ③外部資金の導入の可能性　　例：県の実施する研究開発事業に採択、研究費○○千円を獲得。　　　　内、本学の研究費は○○千円。 |
| ３．波及効果（本学及び地域（企業）等での産学官連携推進への貢献等） |
| ①本学の産学官連携への貢献　　例：新商品開発向けた原料調達等で地域との連携を検討している。　　　　事業の一環として○○発表会に参加して周知広報を図った。 |
| ②地域への波及効果例：新商品開発向けた原料調達等で地域との連携を検討している。　　　　事業の一環として○○発表会に参加して周知広報を図った。 |
| ４．利用頻度、利用方法、必要性（使用日数、使用人数等） |
| ①利用頻度（使用日数、使用人数等）　　例：使用日数　○○日／週　使用人数　○○人／日（内：研究員○○人） |
| ②利用方法　　例：机○○台、イス○○台、キャビネット○○台、ＰＣ○○台を持ち込み、○○開発のため　　　　の作業に使用する。 |
| ③必要性　　例：○○株式会社との共同研究を実施するためには学内にラボが必要である。 |
| ５．その他・特記事項　　　例：共同研究の成果を踏まえ大学発ベンチャー創出を目指している。 |